

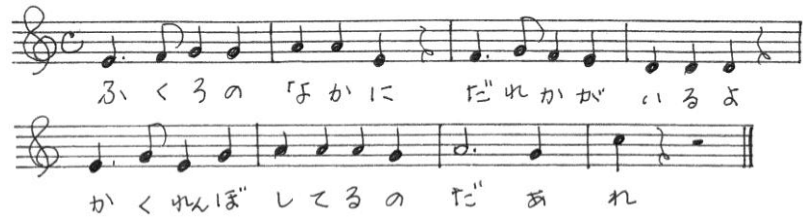
10匹こぶた 演じ方1

《10匹こぶたで歌いましょう》



たたみ方 人形を手にはめたまま、手首のゴムの上の部分を顔の下まで持ち上げて、指を抜く。

『ふくろのなかにだれかがいるよ』 作者不詳

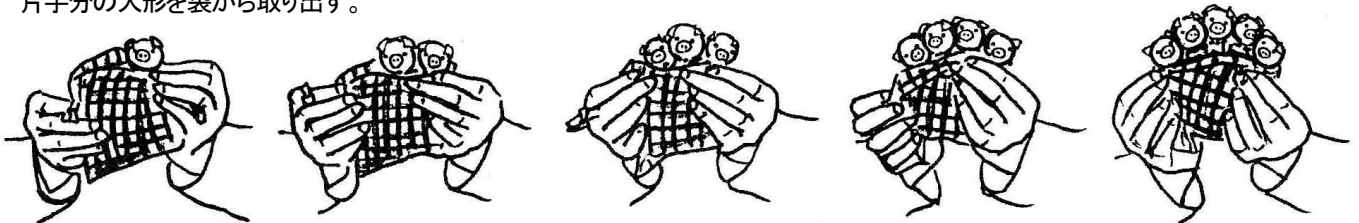


- ① ハンカチ袋の中に5匹のこぶた(右手用)の人形を入れておく。もう片方(左手用)は袋の中の右手用人形の下側に入れておく。『ふくろのなかにだれかがいるよ』を歌う。

ふくろのなかにだれかがいるよ
かくれんぼしてるのだあれ



- ② 「ふう」と言いながら、一匹ずつこぶたの顔を袋からのぞかせる。5匹まで顔を出したら、「5匹の小さなこぶたさんでした」と片手分の人形を袋から取り出す。



- ③ 「あれあれ?まだいる」もう片方を袋から取り出し、人形を手にはめる。(顔の向きを整える)

- ④ 「5匹と」右手を広げて見せる。

「5匹で」左手を広げて見せる。

「あわせて何匹かな?」

答えを待つ。

(「じゅっぴきー」)



- ⑤ 「じゃあ、10匹いるか、教えてみましょう」

親指を中に折り、残り4本の指を前に倒す。

『10匹のこぶた』を歌う。



『10匹のこぶた』 「10人のインディアン」替え歌



10匹こぶた 演じ方2

⑥ 『10匹のこぶた』を歌いながら、右手の小指から起こしていく。



⑦ 「こぶたさんが10匹いましたね」
「じゃあ今度は、反対に教えてみますよ」

⑧ 「1匹、2匹、3匹こぶた」を「10匹 9匹 8匹こぶた」に変えて歌いながら、9匹で左手の親指から順に中へ折っていく。「10匹 ブゥブブー」のところを「1匹フゥフゥフー」と歌う。そして「また遊ぼうね！ バイバイ」と言いながら右手の小指を倒して終わる。
「今度は一緒に歌ってみましょう」と繰り返して演じることもできます。

《ぶたがぶたれた》

ぶたがぶたれた ぶたにぶたれた なぜぶたれた？
いちでいばって にでにらんで さんでさわいだら
しでしかられて ごでごつんと ぶたがぶたれた

- ① 片手に人形をはめ、手のひらを正面にまっすぐ向ける「ぶたがぶたれた」で手を右に傾け、「ぶたにぶたれた」で左に傾け、「なぜぶたれた？」でまっすぐにもどす。
- ② 指を折り曲げ、「いちでいばって」で、人さし指を立てる。「にでにらんで」「さんでさわいだら」と順に指を立てていく。「ごつんと」で拳骨を作り叩く真似をする。「ぶたがぶたれた」で親指を立てる。

※「手ぶくろ人形の部屋」(高田千鶴子/著 偕成社/刊)の23頁に詳しい演じ方が写真入りで掲載されています

《イッチク タッチク》

- ① 片手に人形をはめ、手のひらを正面へ向ける。
- ② 人形をはめた指を広げ、こぶたの頭をもう片方の人さし指で親指側から順々に当てていく。
- ③ 親指から小指へ | ごとに当てていき、小指の次に親指へ戻る、休符では止まる。
- ④ 「ドン！」で当たった指(1回目は薬指)を倒す。
- ⑤ 次は④のとなりの指から始め、倒した指を抜かして当てていく。
- ⑥ 同様にして3回唱える。(親指→人さし指→小指の順に倒れる)
- ⑦ 最後の1回は1匹のこぶた(中指)を人さし指で軽くたたきながら唱える。
- ⑧ 全部の指が倒れたところで終わる。

『イッチク タッチク』 「わらべうたであそぼう乳児編」コダーイ芸術研究所編

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	┌		┌	┌				}
イッ	チ	ク、タツ	チ	ク、	タ	エ	モン	サン、
┌	┌	┌	┌					}
タ	エ	モ	ハ	イ	ク	ラ	デ	ゴー
ワン	ス?							
		♪		♪				}
イッ	セン	ゴ	リン	デ	ゴー	ワン	ス.	
								}
モウ	チツ	ト、			モウ	チツ	ト、	
┌	┌	┌	┌					}
ス	カ	ラ	カ、	マ	カ	ラ	カ、	スツ
テン	ドン!							

〈演じ方指導〉 保育と人形の会 高田千鶴子